

基本事項				
自治体名	滋賀県	設立時期	該当なし	
中核機関名	該当なし	コーディネーター所属	該当なし	
		コーディネーター職種	該当なし	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	該当なし	
		キーパーソン職種	該当なし	
事業の予算	上掲の枠外予算を適用	国の事業のみを適用	自治予算を適用	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局	該当なし			

中核機関形態					
中核機関の分類	集中型	分散型			
中核機関の所属	その他（****）				
中核機能構成	該当なし	名	うち常勤	該当なし	名
中核機能職種					

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	療育機関連携	療育機関連携		
	教育機関	幼稚園	小学校	中学校	高校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健所）	保健所		
	その他機関	保健所（保健所）			
当事者支援方法	直接訪問相談	来庁相談	その他（***）		
	電話相談	メール相談			
支援内容	療育・医療関連	保健機関	保健機関連携	保健機関連携	保健機関連携
		その他（****）			
	相談事業	保健機関	保健機関連携	保健機関連携	保健機関連携
		その他（****）			
	情報提供	医療・療育機関紹介	保健機関連携	保健機関連携	保健機関連携
		保健機関連携	その他（***）		
専門人材育成	保健機関連携				
育成対象	保育士	行政職員	その他教員	その他（***）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）		
言語聴覚士	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
教員	保健機関連携	保健機関連携	保健機関連携		
当事者関係	保健機関連携	保健機関連携	保健機関連携		
自治体職員	障害課	障害課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	障害支援課	特別支援教育課	健康政策課	民間協議（対策）課
その他職員	子ども家庭課	子ども家庭課			
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教員（**）	その他（***）	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	調査把握	聴覚障害者把握調査	聴覚者支援事業計画策定	審判員活動報告	医療機関検査整備状況確認
先天性CMV結果確認	聴覚者支援資料作成	聴覚者支援資料作成	その他（****）		

継続性					
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし		
キーパーソンの後継者		育成中			

耳鼻咽喉科医師のかかわり			
中核機関の設立に関与	協賛者	協賛者	
中核機関として活動	指導者	活動分担	
中核機関への助言	指導者	求められたら	
協議会への参加	毎回		

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している		
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考	
滋賀県では中核機能モデル事業は行なっておらず、国の支援金を用いて新生児聴覚調整会議という形で年1回の協議を行なっております	

基本事項				
自治体名	京都府	設立時期		
中核機関名	該当なし	コーディネーター所属		
		コーディネーター職種		
		乳幼児難聴キーパーソン所属		
		キーパーソン職種		
事業の予算	国・府からの予算を申請	市・区からの予算を申請	自費予算を申請	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局				

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	その他（****）	保健所	保健センター	児童発達センター
中核機能構成	名		うち常勤	名
中核機能職種	医師	保健師		

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	小児検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	児童発達センター	児童発達センター		
	教育機関	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	保健所		
	その他機関	保健所（保健師）			
当事者支援方法	直接訪問相談	来所相談	訪問相談	相談室	保健師訪問相談
	電話相談	メール相談	その他（****）		
	療育・医療関連	保健師	保健師	保健師	保健師
		その他（****）			
	相談事業	保健師	保健師	保健師	保健師
		その他（****）			
支援内容	情報提供	医療・療育機関紹介	保健師紹介資料	保健師紹介	保健師紹介
		保護者交流支援	その他（****）		
専門人材育成	保健師	保健師	保健師	保健師	
育成対象	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	小児検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）
言語聴覚士	聴覚検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）
教員	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）
当事者関係	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	保健課	特別支援教育課	健康政策課	生活政策（対策）課
	子ども家庭課				
	家庭支援課	その他（****）			
その他職員	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）	保健師（保健師）
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（****）	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
メタ協議会	協議会	保健師者の協議会	保健師支援事業計画策定	保健師協議会	保健師協議会協議会協議会
協議会	協議会	協議会	協議会	協議会	協議会

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者				

耳鼻咽喉科医師のかかわり				
中核機関の設立に関与	関係者	関係者	関係者	
中核機関として活動	指導者	活動分担		
中核機関への助言	関係者	関係者	関係者	
協議会への参加				

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	実施状況把握	実施状況把握	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考				

基本事項				
自治体名	京都市	設立時期		
中核機関名	該当なし	コーディネーター所属		
		コーディネーター職種		
		乳幼児難聴キーパーソン所属		
		キーパーソン職種		
事業の予算	国・府・市町村等補助	国・府・市町村等補助	国・府・市町村等補助	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局				

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	その他（****）			
中核機能構成	名		うち常勤	名
中核機能職種	医師	聴覚聴覚士		

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	聴覚検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	聴覚療育機関	聴覚療育機関		
	教育機関	幼稚園	小学校	中学校	高等学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健センター）	保健所		
	その他機関	聴覚院（聴覚センター）			
当事者支援方法	直接訪問相談	来庁相談	訪問相談	相談センター	相談センター
	電話相談	メール相談	その他（****）		
	療育・医療関連	保健機関	保健・医療機関	保健・医療機関	保健・医療機関
		その他（****）			
	相談事業	相談機関	相談機関	相談機関	相談機関
		その他（****）			
支援内容	情報提供	医療・療育機関紹介	相談機関・相談所	相談機関・相談所	相談機関・相談所
		当事者交流支援	その他（****）		
専門人材育成					
育成対象	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	聴覚検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	聴覚院（聴覚センター）	聴覚院（聴覚センター）	聴覚院（聴覚センター）	聴覚院（聴覚センター）
言語聴覚士	聴覚聴覚機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
	聴覚療育機関（聴覚療育センター）				
教員	聴覚療育機関教員	二次検査機関	二次検査機関		
当事者関係	聴覚当事者（聴覚当事者）	聴覚当事者（聴覚当事者）	当事者関係者		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	保健課	特別支援教育課	健康政策課	生活政策（対策）課
	子ども家庭課				
	家庭支援課	その他（****）			
その他職員	聴覚療育機関職員	聴覚療育機関職員	聴覚療育機関職員	聴覚療育機関職員	聴覚療育機関職員
その他専門職	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（****）	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
リスク管理確保	聴覚機関	聴覚療育機関協議会	聴覚療育機関協議会	聴覚療育機関協議会	聴覚療育機関協議会
聴覚機関の連携	聴覚機関の連携	聴覚機関の連携	聴覚機関の連携	聴覚機関の連携	聴覚機関の連携

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者				

耳鼻咽喉科医師のかかわり		
中核機関の設立に関与	関係者	活動分担
中核機関として活動	指導者	活動分担
中核機関への助言	関係者・関係者	関係者・関係者
協議会への参加		

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	実施状況把握	実施状況把握	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考	

基本事項				
自治体名	大阪府	設立時期	平成30年(2018年)	
中核機関名	大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター内 相談支援機関「ひだまり・MOE」	コーディネーター所属	大学	
		コーディネーター職種	教授	
		キーパーソン所属	大学	
		キーパーソン職種	教授	
事業の予算	県と国からの予算を活用	県の予算のみを活用	独自予算を活用	
協議会の有無	有	無		
協議会開催回数		年2回	年2回以上	
協議会事務局	府障がい福祉室自立支援課			

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	大学病院	地域病院	クリニック	県立支援学校
中核機能構成	3名			うち常勤
中核機能職種	医師	言語聴覚士	教員	司書員
				その他(大学教授・臨床心理士・公認心理師)

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	精密検査機関	クリニック	児童発達センター	児童発達支援センター
	療育機関	特別支援学校			
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
	行政機関	保健所(保健師)	行政機関		
	その他機関	その他(手話支援機関)			
当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	出張相談	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他(****)		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	療育・医療機関への付き添い	新スクフォロー	相談実施
		その他(****)			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他(心理相談)		
専門人材育成	情報提供	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ情報提供	セミナー開催
	研修会の企画	保護者交流支援	その他(****)		
育成対象	言語聴覚士	保健師	その他教員(難聴学級担当教員)	その他(手話言語獲得支援事業スタッフ)	その他(心理士)
	保育士	行政職員			

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	その他	眼科医	小児科医(精神科医等)	小児科医	小児科医
言語聴覚士	県立医療機関	二次精密検査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
教員	特別支援学校教員	特別支援学校教員	特別支援学校教員		
当事者関係	難聴当事者(当事者会)	難聴者家族(家族会)	当事者支援会		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	幼保課	特別支援教育課	健康政策課	医療政策(対策)課
その他職員	子育て支援課	その他(****)			
	教育委員会	保健所(保健師)	その他(****)		
その他専門職	心理士	保育士	その他協会(大阪聴覚障害者協会)	その他センター(***)	その他(****)
			その他大学教授(人間発達環境学)	その他(****)	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会	
新スク結果確認	相談相談	難聴障害者相談調査	構成員活動報告	医療機関検査整備状況確認
先天性CMV結果確認	難聴者支援資料作成	難聴相談援助事業協議	その他(****)	

継続性			
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし

耳鼻咽喉科医師のかかわり			
中核機関の設立に関与	提唱者	協力者	途中から参加
中核機関として活動	活動分担		
中核機関への助言	定期的な助言	求められたら(双方向の紹介と助言)	
協議会への参加	毎回	必要時	必要時

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している*	把握していない	
整備状況	対策を実施中*		

備考	
*先天性CMV検査状況については、大阪府新生児聴覚検査推進体制検討会にて、調査把握と対策を実施しており、先々協議会でも報告予定である。	
今回の報告では、「大阪府障がい者施策推進協議会手話言語条例評価部会」を協議会として位置づけ、回答した。	
上記協議会とは別に、「相談支援ネットワーク会議」の名称で、実務者会議を年に4回開催している。参加者は中核機関である「ひだまり・MOE」と、大阪府の委託事業として乳幼児期手話言語獲得支援事業を実施する「NP0こめっこ」、児童発達支援センター「びんびん教室」「ゆうなぎ園」である。また、それぞれが行う手話言語獲得支援や療育が体験できる合同イベントを、年に3回実施している。加えて、大阪府との	

基本事項			
自治体名	兵庫県	設立時期	令和6年9月7日
中核機関名	兵庫県こどものきこえ相談センター	コーディネーター所属	兵庫県こどものきこえ相談センター
		コーディネーター職種	言語聴覚士（退職教員）
		キーパーソン所属	県立こども病院
		キーパーソン職種	医師
事業の予算	県と国からの予算を活用	助成予算の活用状況	助成金未活用
協議会の有無	有		
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回
協議会事務局	兵庫県福祉部ユニバーサル推進課		年5回以上

中核機関形態					
中核機関の分類	集中型	分散型			
中核機関の所属	小児科医 その他（聴覚障害者情報提供施設）	地域病院	クリニック	県立支援学校	児童発達支援センター
中核機能構成		3 名	うち常勤		1 名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	小児科	看護師	その他（事務員）

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能	周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次精査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（市町教育委員会）	市町障害福祉課		

当事者支援方法	電話相談	来所支援	巡回支援	遠隔相談	オンライン相談
	メール相談	メール相談	その他（***）		
支援内容	療育・医療関連	療育支援	療育・医療機関 への付添い	臨床支援	相談援助
		新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
	相談事業	就学相談	就学相談		
		医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ 情報提供	セミナー開催
専門人材育成	研修会の企画	保護者交流支援	その他（障害児対象の学習交流会）		
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	聴覚検査機関の聴覚検査士
	保育士	行政職員	その他教員	その他（***）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	小児科医	小児科医	小児科医
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	小児科医	地方部会
言語聴覚士					言語聴覚士協会
教員	特別支援学校教員		支援級教員		
当事者関係	聴聴当事者（当事者会）	難聴者家族（家族会）	当事者団体		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	幼保課	特別支援教育課	健康政策課	
	子ども家庭課	その他（ユニバーサル推進課）		健康長寿課	社会政策（対策）課
	家庭支援課				
その他職員	教育委員会	保健所（保健師）	保健所（保健師）	その他センター（聴覚障害）	その他（***）
その他専門職		保育士	保育士		

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会	
新スク結果確認	聴覚検査機関	聴覚障害者把握調査	聴覚検査機関	協議会活動報告
先天性CMV結果確認	聴覚検査機関	聴覚検査機関	聴覚検査機関	協議会活動報告

継続性			
コーディネーターの後継者	あり	なし	なし
キーパーソンの後継者	あり	なし	なし

耳鼻咽喉科医師のかかわり		
中核機関の設立に関与		協力者
中核機関として活動	指導者	指導者
中核機関への助言	定期的な助言	定期的な助言
協議会への参加	毎回	毎回

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	調査把握している	把握していない	※当センターとしては協議会の運営をしていないため
整備状況			※当センターとしては協議会の運営をしていないため

備考	
新生児聴覚スクリーニング及び先天性サイトメガロウイルス感染症に関しては、兵庫県においては県健康増進課が取りまとめて、当協議会とは別組織として専門者会議を運営 当センターからも陪席参加しています。	
当兵庫県こどものきこえ相談センターは、2024年9月に立ち上がったところなので、県内の関連行政機関や教育機関、療育機関、医療機関及び政令都市の神戸市に設置された 聴覚障害児支援強化事業推進のための「総合聴覚センター」等と、今後連携するために調整・協議を進めているところです。	
CMVの調査実施対策は別機関で行っております。	

基本事項				
自治体名	神戸市	設立時期	2021年	
中核機関名	神戸市立医療センター中央市民病	コーディネーター所属	神戸市立医療センター中央市民病院総合聴覚センター	
		コーディネーター職種	言語聴覚士	
		乳幼児難聴キーパーソン所属	神戸市立医療センター中央市民病院総合聴覚センター	
		キーパーソン職種	医師	
事業の予算	県と国からの予算を活用	国庫補助金を利用	国庫補助金を利用	
協議会の有無	有			
協議会開催回数	年1回	年2回	年3-4回	年5回以上
協議会事務局	神戸市立医療センター中央市民病院総合聴覚センター			

中核機関形態				
中核機関の分類	集中型	分散型		
中核機関の所属	その他（****）	地域病院	総合病院	大学病院
中核機能構成		8名	うち常勤	5名
中核機能職種	医師	言語聴覚士	臨床心理士	その他（事務員）

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能	周辺機関による機能		
機関連携	医療機関	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	小児科
	療育機関	特別支援学校	児童発達センター		
	教育機関	保育園	幼稚園	小学校	中学校
		高校	大学		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（****）			

当事者支援方法	家庭訪問相談	来所支援	巡回支援	出張相談	オンライン相談
	電話相談	メール相談	その他（****）		
支援内容	療育・医療関連	療育実践	相談支援機関	新スクフォロー	補聴器処方
		その他（****）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	補聴器相談
		就学相談	その他（****）		
	情報提供	医療・療育機関紹介	説明資料作成配布	ホームページ	セミナー開催
		保護者交流支援	その他（****）	情報提供	
専門人材育成	研修会の企画	教材作成			
育成対象	言語聴覚士	保健師	医師	特別支援学校教師	児童発達支援センター職員
	保育士	行政職員	その他教員	その他（****）	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター
	総合病院				
	その他	小児科医（医会含む）	産科医（医会含む）	小児科医会	その他医師会
言語聴覚士	精密医療機関	二次検査機関	クリニック	児童発達センター	言語聴覚士協会
教員	特別支援学校教員	次級教員	次級教員		
当事者関係	難聴当事者（当事者会）	難聴者家族（家族会）	当事者支援会		
自治体職員	障害課	保健課	教育課	健康福祉課	
	障害支援課	保健課	特別支援教育課	健康政策課	生涯政策（対策）課
	子ども家庭課	その他（****）			
	家庭支援課				
その他職員	教育委員会	保健委員会			
その他専門職	児童発達センター	聴覚検査機関	その他協会（助産師会）	その他（助産師会）	その他（****）
	心理士	保育士	その他大学教授（**）	その他（助産師）	

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
新スク結果確認	説明検討	聴覚障害者把握調査	聴覚者支援事業計画策定	構成員活動報告	医療機関検査整備状況確認
新スク結果確認	難聴者支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他（****）		

継続性				
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし	
キーパーソンの後継者		育成中	なし	

耳鼻咽喉科医師のかかわり		
中核機関の設立に関与	提唱者	助産者
中核機関として活動	指導者	活動分担
中核機関への助言	定期的な助言	相談対応あり
協議会への参加	毎回	定期的に参加

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	把握していない	把握していない	
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考	

基本事項

自治体名

奈良県

設立時期

中核機関名

なし

コーディネーター所属

コーディネーター職種

乳幼児難聴キーパーソン所属

キーパーソン職種

事業の予算

協会の有無

無

協議会開催回数

年1回

年2回

年3-4回

年5回以上

協議会事務局

中核機関形態

中核機関の分類

集中型

分散型

中核機関の所属

その他（****）

中核機能構成

名

うち常勤

名

中核機能職種

機能紹介

中核機関/キーパーソンの機能

周辺機関による機能

機関連携

医療機関

特定検査機関

二次検査機関

クリニック

小児科

療育機関

特別支援学校

教育機関

幼稚園

小学校

中学校

高等学校

行政機関

保健所（保健師）

行政機関

その他機関

その他（****）

当事者支援方法

直接訪問相談

電話相談

面談

その他（****）

療育・医療関連

療育実践

療育実践

新スクフォロー

補聴器処方

相談事業

就学相談

難聴相談

言語発達相談

補聴器相談

情報提供

医療・療育機関紹介

相談資料作成等

相談提供

その他（****）

専門人材育成

研修等実施

研修等実施

研修等実施

研修等実施

育成対象

保育士

行政職員

その他教員

その他（****）

協議会構成員

医師

耳鼻科関連

特定検査機関

二次検査機関

クリニック

児童発達センター

その他

その他（****）

その他（****）

その他（****）

その他（****）

言語聴覚士

特定検査機関

二次検査機関

クリニック

児童発達センター

言語聴覚士協会

教員

保育士・幼稚園教員

行政職員

行政職員

当事者関係

難聴当事者（乳幼児等）

難聴当事者（家族等）

当事者等関係

自治体職員

障害課

保健課

教育課

健康福祉課

その他職員

子育て支援課

助産課

特別支援教育課

健康政策課

健康長寿課

その他専門職

心理士

保育士

その他大学教授（**）

その他（****）

協議会での主な協議内容

中核機能主催の協議会

その他の協議会

メタ協議会

協会の検討

協議会事務局設置

協議会支援事業計画策定

協会の活動報告

医療機関検査設備状況確認

その他（****）

その他（****）

その他（****）

その他（****）

その他（****）

継続性

コーディネーターの後継者

あり

育成中

なし

キーパーソンの後継者

育成中

耳鼻咽喉科医師のかかわり

中核機関の設立に関与

関係者

関係者

中核機関として活動

指導者

活動分担

中核機関への助言

関係者も助言

関係者も助言

協議会への参加

なし

先天性CMV検査状況について

実施状況把握

実施していない

実施していない

整備状況

対策を実施中

対策を検討中

検討していない

備考

奈良県は中核機関が立ち上がっていません。

基本事項			
自治体名	和歌山県	設立時期	令和4年
中核機関名	和歌山県聴覚情報センター内「乳幼児きこえとことば相談」	コーディネーター所属	一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会
		コーディネーター職種	相談コーディネーター（手話通訳士）
		キーパーソン所属	一般社団法人和歌山県聴覚障害者協会
		キーパーソン職種	公認心理士 言語聴覚士
事業の予算	県と国からの予算を活用	事業費の主な財源	国庫補助金等
協議会の有無	有	協議会の名称	和歌山県聴覚障害者協会
協議会開催回数	年1回	開催回数	年3-4回
協議会事務局	和歌山県立和歌山ろう学校	事務局の名称	（一）和歌山県難聴児支援協議会の事務局

中核機関形態					
中核機関の種類	集中型	相談機関	療育機関	教育機関	行政機関
中核機関の所属	その他（和歌山県聴覚障害者情報センター）				
中核機能構成		3名	うち常勤		1名（幼・小学校教諭・手話通訳士）
中核機能職種		言語聴覚士		聴覚検査士	その他（公認心理士）

機能紹介		中核機関/キーパーソンの機能		周辺機関による機能	
機関連携	医療機関	精密検査機関	聴覚検査機関	タリオンスタ	聴覚検査センター
	療育機関	特別支援学校	言語発達センター		聴覚検査センター
	教育機関	小学校	幼稚園	小学校	幼稚園
			幼稚園		
	行政機関	保健所（保健師）	行政機関		
	その他機関	その他（和歌山ろう学校）			
当事者支援方法	面談/訪問相談	メール相談	巡回支援	聴覚検査	タリオンスタ相談
	電話相談	メール相談	その他（***）		
支援内容	療育・医療関連	聴覚検査	聴覚検査機関	タリオンスタ相談	聴覚検査センター
		その他（***）			
	相談事業	新スク相談	難聴相談	言語発達相談	聴覚検査センター
専門人材育成	研修会の企画	教材作成	研修取得支援	その他（***）	
	育成対象	言語聴覚士	聴覚検査士	聴覚検査センター職員	
育成対象	聴覚検査士	言語聴覚士	聴覚検査機関	聴覚検査センター	

協議会構成員					
医師	耳鼻科関連	精密検査機関	聴覚検査機関	タリオンスタ	聴覚検査センター
	その他		聴覚検査機関（聴覚検査センター）		聴覚検査センター
			聴覚検査機関（聴覚検査センター）	聴覚検査機関	聴覚検査センター
言語聴覚士	精密医療機関	言語発達センター	タリオンスタ	言語発達センター	言語発達センター
教員	特別支援学校教員	聴覚検査機関			
当事者関係	聴覚障害者（当事者会）	聴覚検査機関（当事者会）	当事者関係		
自治体職員	和歌山県障害福祉課	聴覚検査機関	和歌山県教育委員会	和歌山県健康推進課	和歌山県聴覚障害者支援センター
	和歌山市障害者支援課	聴覚検査機関	特別支援教育課		
	子ども家庭課				
	福祉支援課	その他（***）			
その他職員	聴覚検査機関（聴覚検査センター）	聴覚検査機関（聴覚検査センター）	聴覚検査機関（聴覚検査センター）	聴覚検査機関（聴覚検査センター）	聴覚検査機関（聴覚検査センター）
その他専門職	聴覚検査センター	保健センター	その他協会（***）	その他センター（**）	その他（***）

協議会での主な協議内容		中核機能主催の協議会	その他の協議会		
先天性CMV検査確認	聴覚検査	聴覚検査機関	聴覚検査機関	聴覚検査機関	聴覚検査機関
先天性CMV結果確認	聴覚検査支援資料作成	補聴器補助事業協議	その他（***）		

継続性			
コーディネーターの後継者	あり	育成中	なし
キーパーソンの後継者	あり	育成中	なし

耳鼻咽喉科医師のかかわり			
中核機関の設立に関与	協力者	協力者	協力者
中核機関として活動	活動分担	活動分担	活動分担
中核機関への助言	定期的な助言	定期的な助言	定期的な助言
協議会への参加	毎回	毎回	毎回

先天性CMV検査状況について			
実施状況把握	把握していない	把握していない	把握していない
整備状況	対策を実施中	対策を検討中	検討していない

備考			